

エルサレムへの嘆き

ルカの福音書13章31-35節

2013,1,20 HKJCF

I 概要

序) イエス様のエルサレムへの旅

- 1、パリサイ人の警告 31
- 2、イエス様の決意 32-33
- 3、エルサレムへの嘆き 34
- 4、エルサレムへの預言 35

適用) 現代社会の生き詰まりの中で、私たちはイエス様の再臨を信じ、大きなビジョンを持って大胆に祈り、進もう

II パリサイ人の警告

- ①ヘロデの陰謀
 - 1)ヘロデの殺意
 - 2)ヘロデ大王と3人の息子
- ②パリサイ人の陰謀
 - 1)ガリラヤ封じ込め
 - 2)殺害の意図 ルカ22:2, マタイ12:14
- ③イエス様の前進(13:22)

III イエス様の決意

- ①イエス様の宣教・み業・十字架(ヨハネ19:30)
- ②エルサレムでの十字架
- ③エルサレムへの直線的旅(9:51,13:22)
⇒私たちの事業と生涯は
 - ①十字架で完成する
 - ②目的に集中する必要がある
 - ③全員の賛成は必要ない

IV エルサレムへの嘆き

- ①神殿(アブラハム,ダビデ,ソロモン)
- ②バビロニアの侵入と預言者(エレミヤ)
- ③神殿信仰の崩壊(離散・会堂・律法)
⇒律法主義か、キリスト信仰か？

V エルサレムへの預言

- ①エルサレムへの最終預言(35)
- ②エルサレムからローマへ(パウロ)
- ③エルサレムの崩壊(AD70)
- ④エルサレムのローマ化
- ⑤十字軍の悲劇
- ⑥イスラエル共和国の成立(AD1948)
- ⑦キリストの再臨
⇒エルサレムは新創造とともに天に実現する(黙示録22:1-7)